

大阪経済記者クラブ 会員各位

大阪・関西万博の「テーマウィーク」における次世代による課題解決に向け
大阪商工会議所と(公社)2025年日本国際博覧会協会が連携協力協定を締結
大商は、協会主催事業「アジェンダ2025」の「プログラム・サポーター」に

【お問合せ】大阪商工会議所 地域振興部（舘林、本、玉川）
TEL：06-6944-6323

大阪商工会議所（大商）と公益社団法人2025年日本国際博覧会協会（協会）は、大阪・関西万博のテーマウィークに向け、1月19日に連携協力協定を締結した。大商は、テーマウィークで協会が主催するプログラム「アジェンダ2025」の「プログラム・サポーター」を担い、世界経済フォーラムのグローバル・シェイパーズ・コミュニティ 大阪ハブが立ち上げた「シェイプ・ニューワールド・イニシアチブ」の活動を協会と相互に連携・協力して推進し、次世代による地球規模の課題解決を支援する。その一環として、1月26日には「未来社会創成委員会」を開催する（プレスオープン）。

- 同協定では、大阪・関西万博のテーマウィークにおいて、次世代の視点とアイデアによる地球規模の課題解決のための対話や交流の取り組みを連携して実施し、博覧会を成功に導くとともに、いのち輝く未来社会を世界と共に創造することを目指す。
- 同協定にもとづき、協会は、大商をテーマウィークの「プログラム・サポーター」に位置付け、協会主催プログラム「アジェンダ2025」において「次世代・インクルージョン」を担う「シェイプ・ニューワールド・イニシアチブ（SNW I）」（事務局：世界経済フォーラム グローバル・シェイパーズ・コミュニティ 大阪ハブ）の活動について、以下の事項を両者が連携して推進する。
 - ① 賛同企業の協賛募集（1口100万円、金額に応じた協賛特典を付与）
 - ② プログラム企画に関する助言
 - ③ 賛同企業の拡大に向けた広報・情報発信を行うこと
- 具体的な活動として、まずは、SNW Iのメンバーである若者が、有識者とともに意見交換を行う「未来社会創成委員会」を大商とSNW Iが設置。同委員会の座長は、SNW Iの代表・佐久間洋司（大阪大学社会ソリューションイニシアチブ特任研究員）氏で、1月26日に開催する第1回委員会には、有識者として鳥井信吾・大商会頭も参加する。

参考：大阪・関西万博のテーマウィーク

- ・ 地球的規模の課題の解決に向けて英知を持ち寄り、対話による解決策を探る取り組み。
- ・ 1週間ごとに地球的課題をテーマに設定し、解決策を話し合う「対話プログラム」と、行動のための「ビジネス交流」などを会場の内外で実施する。
- ・ 公式参加者、日本政府・自治体、協会、企業参加者等の実施主体（トラック）がそれぞれ主体的に独自プログラムを実施する。

- 協会が主催するプログラムは「アジェンダ2025」という名称で実施する。

	トラック1	トラック2	トラック3	トラック4	トラック5
実施主体	公式参加者	日本政府 自治体等	博覧会協会 (アジェンダ2025) (テーマ事業)	TEAM EXPO 2025	万博参加企業
実施場所(会場内)	公式パビリオン	日本政府館 大阪パビリオン メッセ等	スタジオ(検中) メッセ シグネチャーパビリオン	フューチャーライフ エクスペリエンス	民間パビリオン 未来社会ショーケース
(会場外)	全国規模での各種国際会議などの実施、誘致・連携				

2025年 開催期間	テーマ (ウィーク名)	テーマ (問い)	テーマ領域
4/25(金) ~5/6(火)	未来への文化共創	多様な文化が共鳴し、未来への文化が共創されるために、私たちは何をすべきか?	伝統芸能、歴史遺産、地域活性化、観光、アート、音楽、スポーツ、文化芸術、クールジャパン、マンガ・アニメ、eスポーツなど
5/15(木) ~5/26(月)	未来のコミュニティとモビリティ	誰もがその人らしく生きられるコミュニティとは?	スマートシティ、デジタル田園都市、防災・復興、メタバース、宇宙、ロボット、EV・FCV、自動運転、空飛ぶクルマ、サイバーセキュリティ、MaaSなど
6/5(木) ~6/16(月)	食と暮らしの未来	全ての人々が食と暮らしに困ることがない未来はどのようにすれば実現できるのか?	フードロス、フードテック、食育、食文化、スマート農林水産業、サステナブルファッション、エシカル消費など
6/20(金) ~7/1(火)	健康とウェルビーイング	一人ひとりのウェルビーイングが共鳴する社会をどう実現するか?	感染症対策、ウェルビーイング、ゲノム医療、再生・細胞医療・遺伝子治療、PHR、健康寿命、SBNR、安全な水とトイレなど
7/17(木) ~7/28(月)	学びと遊び	AI時代において人は何を学ばば良いのか?	生涯学習、EDTEC、知財活用、個別最適化学習、遠隔教育、若者自立、教育格差、STEAM、アントレプレナーシップ、世界の遊びなど
8/1(金) ~8/12(火)	平和と人権	あらゆる差別をなくし、互いを尊重し合う社会を実現するために、世界は何をすべきか?	飢餓、貧困、格差社会、人権侵害、児童労働・強制労働、人身売買、障がい者参加、ジェンダー平等、LGBTQ、女性の活躍推進、移民、人間の安全保障、多様性と包摂性など
9/17(水) ~9/28(日)	地球の未来と生物多様性	豊かで多様ないのちが住む地球を未来に残すために、私たちは何をすべきか?	候変動、脱炭素、生物多様性、サーキュラーエコノミー、再生可能エネルギー、水素社会、ネイチャーポジティブ、森林破壊、海洋汚染、里山再生、淡水資源など
10/2(木) ~10/12(日)	SDGs+Beyond いのち輝く未来社会	SDGsは達成できるか?そして、その先はどうする?	SDGs、ポストSDGs、いのち、未来社会、Society5.0など

クロスカッティングイニシアチブ

経済・イノベーション

人口動態・少子高齢社会

次世代・インクルージョン

参考：世界経済フォーラム・グローバルシェイパーズ・コミュニティ 大阪ハブと「シェイプ・ニューワールド・イニシアチブ (SNWI)」

- 世界経済フォーラムに設置された33歳以下の若者によるコミュニティ「グローバルシェイパーズ」は、各国の都市で地域拠点(ハブ)を設けて活動している。
- 大阪ハブでは、佐久間洋司氏(大阪大学社会ソリューションイニシアチブ特任研究員)が代表となり、若者自身が未来世代に向けて、新しい世界をかたちづくるために取り組むため、「シェイプ・ニューワールド・イニシアチブ(SNWI)」を立ち上げた。
- 同イニシアチブは、2023年12月12日に協会と連携協力協定を締結。大阪・関西万博のテーマウィークで協会が主催する「アジェンダ2025」の「プログラム・サポーター」として「次世代・インクルージョン」のクロスカッティングイニシアチブを担う。

以上

<添付資料>

資料1：公益社団法人2025年日本国際博覧会協会と大阪商工会議所との「テーマウィーク」実施に向けての連携協力に関する協定書

資料2：大阪商工会議所と公益社団法人2025年日本国際博覧会協会との連携協力協定の概要

資料3：第1回未来社会創成委員会 開催概要

公益社団法人2025年日本国際博覧会協会と
大阪商工会議所との「テーマウィーク」実施に向けての
連携協力に関する協定書

公益社団法人2025年日本国際博覧会協会（以下「甲」という。）と大阪商工会議所（以下「乙」という。）とは、以下のとおり連携協力協定（以下「本協定」という。）を締結する。

（目的）

第1条 本協定は、甲と乙が2025年日本国際博覧会（以下「博覧会」という。）のテーマウィークにおいて、未来社会の中心を担う次世代の視点とアイデアによる地球規模の課題解決のための対話や交流の取り組み（クロスカuttingイニシアチブのうち「次世代・インクルージョン」）を相互に連携・協力して実施し、博覧会を成功に導くとともに、いのち輝く未来社会を世界と共に創造することを目的とする。

（定義）

第2条 甲及び乙が、次条において、相互の連携・協力として実施する「シェイプ・ニューワールド・イニシアチブ」（代表者：佐久間洋司）は、世界経済フォーラムのイニシアチブの一つであるグローバル・シェイパーズ・コミュニティ大阪ハブを事務局として立ち上がったイニシアチブ（コンソーシアム）をいう。

「シェイプ・ニューワールド・イニシアチブ」には、世界経済フォーラムグローバル・シェイパーズ・コミュニティ大阪ハブ、日本国際博覧会協会、大阪商工会議所、大阪大学社会ソリューションイニシアティブ、科学技術振興機構などの様々な機関の協力のもと、一年半の調査研究プロジェクトに取り組むとともに、2025年大阪・関西万博におけるテーマウィークプログラムでは、次世代・インクルージョンのクロスカuttingイニシアチブを担いとして、テーマセッションを開催することを予定している。

（連携事項）

第3条 甲は、乙を、甲が実施するテーマウィークの「プログラムサポーター」と位置付け、甲及び乙は、前条の目的を実現するため、それぞれ以下に掲げる事項を推進するものとする。

- (1) テーマウィークにおいて開催される「アジェンダ2025」のうちクロスカuttingイニシアチブの「次世代・インクルージョン」を担う「シェイプ・ニューワールド・イニシアチブ」の活動に賛同いただく企業の協賛募集及びとりまとめを相互に協力して行うこと。
- (2) 「シェイプ・ニューワールド・イニシアチブ」が実施する調査研究成果の発表を内容とするプログラム企画に関する助言を行うこと。
- (3) 「シェイプ・ニューワールド・イニシアチブ」の活動に賛同いただく企業の輪が広がるように、広報・情報発信を行うこと。
- (4) その他、甲及び乙が必要と認める事項

2 甲及び乙は、テーマウィーク及びテーマウィークにおいて実施されるアジェンダ2025の開催のために直接要する費用については、原則として乙が負担しないことを確認する。

（協力の実施）

第4条 甲及び乙は、前条各号の連携事項の実施を検討するため定期的に協議を行い、具体的な実施事項については、双方の協議と合意を経て決定する。

- 2 甲及び乙は、前項により協議した事業を実施するにあたり、必要に応じ、本協定とは別に詳細を定める個別の合意文書を作成する。

(協定の見直し)

第5条 甲又は乙のいずれかが、本協定の内容の変更を申し出たときは、その都度協議のうえ、必要に応じて書面により変更するものとする。

(守秘義務)

第6条 甲及び乙は、本協定の実施により知り得た相手方の秘密情報を、次の各号のいずれかに該当する場合を除き、本協定又は協定に基づく覚書の目的以外に使用し、又は、他方当事者の了解なしに、第三者に公表してはならない。ただし、甲及び乙は連携・協力事項の検討に合理的に必要な範囲内で、弁護士、公認会計士その他の専門家に限り本情報を開示することができる。

- (1) 既に公知となっているもの
- (2) 知り得たのちに自らの帰責事由によらずに公知となったもの
- (3) 既に保有しているもの
- (4) 秘密保持義務を負うことなく適法に入手したもの
- (5) 知り得た情報に基づくことなく独自に取得又は創出したもの
- (6) 法令に基づき公開又は開示等を行うもの

(有効期間)

第7条 本協定の有効期間は、本協定を締結した日から2026年3月31日までとする。

- 2 甲又は乙のいずれかが、本協定の解約を申し出る場合、解約予定日の1ヶ月前までに書面によって相手方に通知することにより、本協定を解約できるものとする。

(その他)

第8条 本協定に記載のない事項又は本協定の条項の運用に疑義が生じた事項については、甲及び乙がともに誠意をもって協議のうえ、解決するものとする。

本協定の成立を証するため、本書2通を作成し、甲及び乙それぞれ署名のうえ、各1通を保有するものとする。

2024年1月19日

(甲) 大阪府大阪市住之江区南港北一丁目14-16
公益社団法人2025年日本国際博覧会協会
事務総長 石毛 博行

(乙) 大阪府大阪市中央区本町橋2番8号
大阪商工会議所
会頭 鳥井 信吾

大阪商工会議所と公益社団法人2025年日本国際博覧会協会との 連携協力協定の概要

資料2

名称	公益社団法人2025年日本国際博覧会協会（協会）と大阪商工会議所（大商）との「テーマウィーク」実施に向けての連携協力に関する協定書
目的	2025年日本国際博覧会（博覧会）のテーマウィークにおいて、未来社会の中心を担う次世代の視点とアイデアによる地球規模の課題解決のための対話や交流の取り組み（クロスカッティングイニシアチブのうち「次世代・インクルージョン」）を相互に連携・協力して実施し、博覧会を成功に導くとともに、いのち輝く未来社会を世界と共に創造すること
連携・協力事項	協会は大商を大阪・関西万博のテーマウィークの「プログラムサポーター」に位置づけ、協会主催プログラム「アジェンダ2025」において「次世代・インクルージョン」を担う「シェイプ・ニューワールド・イニシアチブ（SNWI）」（事務局：世界経済フォーラムグローバル・シェイパーズ・コミュニティ大阪ハブ）の活動について、以下の事項を両者が連携して推進する <ol style="list-style-type: none">（1）賛同企業の協賛募集（1口100万円、金額に応じた協賛特典を付与）（2）プログラム企画に関する助言（3）賛同企業の拡大に向けた広報・情報発信を行うこと（4）その他、甲及び乙が必要と認める事項
締結日	2024年1月19日

■参考：大阪・関西万博のテーマウィーク

- 世界が半年間の長きにわたり同じ場所に集う万博の特性を活かし、地球的規模の課題の解決に向けて英知を持ち寄り、対話による解決策を探る取り組み
- 1週間ごとに地球的課題をテーマに設定し、主催者だけでなく、公式参加国、政府・自治体、共創事業参加者、出展企業等の万博参加者、及び全国の自治体や産業界等が集い、解決策を話し合う「対話プログラム」と、行動のための「ビジネス交流」などを実施

	トラック1	トラック2	トラック3	トラック4	トラック5
実施主体	公式参加者	日本国政府 自治体 等	博覧会協会 (アジェンダ2025) (テーマ事業)	TEAM EXPO 2025	万博参加企業
実施場所 (会場内)	公式パビリオン	日本政府館 大阪パビリオン メッセ 等	スタジオ (検討中) メッセ シグネチャーパビリオン	フューチャーライフ エクスペリエンス	民間パビリオン 未来社会ショーケース
(会場外)	全国規模での各種国際会議などの実施、誘致・連携				

■参考：大阪・関西万博のテーマウィークの構成

- 大阪・関西万博のテーマウィークでは、8つのテーマと3つのクロスカッティングイニシアチブを設定
- クロスカッティングイニシアチブは、8つのテーマを相互に関連させていくための切り口。「経済・イノベーション」「人口動態・少子高齢社会」「次世代・インクルージョン」の3つ

2025年 開催期間	テーマ (ウィーク名)	テーマ (問い)	テーマ領域
4/25 (金) ～5/6 (火)	未来への文化共創	多様な文化が共鳴し、未来への文化が共創されるために、私たちは何をすべきか？	伝統芸能、歴史遺産、地域活性化、観光、アート、音楽、スポーツ、文化芸術、クールジャパン、マンガ・アニメ、eスポーツ など
5/15 (木) ～5/26 (月)	未来のコミュニティとモビリティ	誰もがその人らしく生きられるコミュニティとは？	スマートシティ、デジタル田園都市、防災・復興、メタバース、宇宙、ロボット、EV・FCV、自動運転、空飛ぶクルマ、サイバーセキュリティ、MaaS など
6/5 (木) ～6/16 (月)	食と暮らしの未来	全ての人々が食と暮らしに困ることがない未来はどのようにすれば実現できるのか？	フードロス、フードテック、食育、食文化、スマート農林水産業、サステナブルファッション、エシカル消費 など
6/20 (金) ～7/1 (火)	健康とウェルビーイング	一人ひとりのウェルビーイングが共鳴する社会をどう実現するか？	感染症対策、ウェルビーイング、ゲノム医療、再生・細胞医療・遺伝子治療、PHR、健康寿命、SBNR、安全な水とトイレ など
7/17 (木) ～7/28 (月)	学びと遊び	AI 時代において人は何を学べば良いのか？	生涯学習、EDTEC、知財活用、個別最適化学習、遠隔教育、若者自立、教育格差、STEAM、アントレプレナーシップ、世界の遊び など
8/1 (金) ～8/12 (火)	平和と人権	あらゆる差別をなくし、互いを尊重し合う社会を実現するために、世界は何をすべきか？	飢餓、貧困、格差社会、人権侵害、児童労働・強制労働、人身売買、障がい者参加、ジェンダー平等、LGBTQ、女性の活躍推進、移民、人間の安全保障、多様性と包摂性 など
9/17 (水) ～9/28 (日)	地球の未来と生物多様性	豊かで多様ないのちが住む地球を未来に残すために、私たちは何をすべきか？	候変動、脱炭素、生物多様性、サーキュラーエコノミー、再生可能エネルギー、水素社会、ネイチャーポジティブ、森林破壊、海洋汚染、里山再生、淡水資源 など
10/2 (木) ～10/12 (日)	SDGs + Beyond いのち輝く未来社会	SDGs は達成できるか？そして、その先はどうする？	SDGs、ポストSDGs、いのち、未来社会、Society5.0 など

■参考：シェイプ・ニューワールド・イニシアチブ（SNWI）の取り組み

- 世界経済フォーラムに設置された33歳以下の若者によるコミュニティ「グローバルシェイパーズ」は、各国の都市で地域拠点（ハブ）を設けて活動している
- 大阪ハブでは、佐久間洋司氏（大阪大学社会ソリューションイニシアチブ）が代表となり、若者自身が未来世代に向けて、新しい世界をかたちづくるために取り組む「シェイプ・ニューワールド・イニシアチブ（SNWI）」を立ち上げた
- 同イニシアチブは、2023年12月12日に協会と連携協力協定を締結。大阪・関西万博のテーマウィークで協会が主催する「アジェンダ2025」の「プログラム・サポーター」として「次世代・インクルージョン」のクロスカッティングイニシアチブを担う



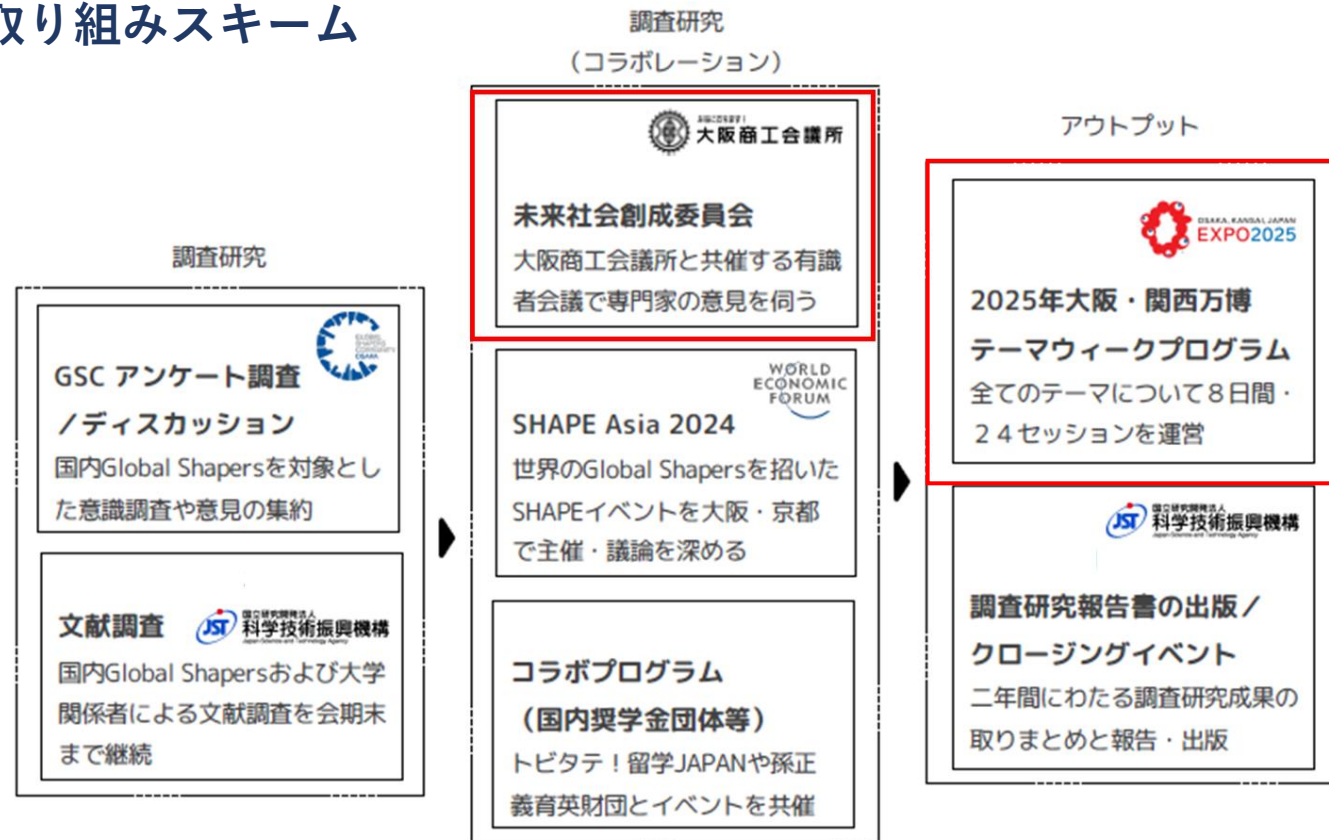
リーダー

佐久間洋司（大阪大学社会ソリューションイニシアチブ）

2025年日本国際博覧会大阪パビリオン推進委員会 ディレクター、VPIAコミュニティ委員、大商 2025年大阪・関西万博懇話会 メンバー



取り組みスキーム



■参考：協会、大商、シェイプ・ニューワールド・イニシアチブの関係



「シェイプ・ニューワールド・イニシアチブ」(代表：佐久間 洋司 氏)
(世界経済フォーラム グローバル・シェイパーズ・コミュニティ 大阪ハブ)

世界中のシェイパーズ
と共に創る

テーマウィーク
プログラム・サポーター
として連携

2025年大阪・関西万博
テーマウィーク
クロスカッピング
イニシアチブ
次世代・インクルージョン

未来社会創成委員会
について連携

博覧会協会

連携協定締結
(テーマウィーク プログラム・サポーターとして連携)

大阪商工会議所

第1回未来社会創成委員会 開催概要

目的：2025年大阪・関西万博のテーマウィークの各テーマに沿って、新しい世界をかたちづくろうと取り組む若者が、有識者とともに意見交換を行う場

主催：・シェイプ・ニューワールド・イニシアチブ（SNWI）
（事務局：世界経済フォーラム グローバル・シェイパーズ・コミュニティ 大阪ハブ）
・大阪商工会議所（大商）

日時：2024年1月26日（金）14：00～15：30

場所：大阪商工会議所 4階 特別会議室

テーマ：「未来への文化共創」

- 次第：（1）趣旨説明 佐久間 洋司 氏
世界経済フォーラム シェイプ・ニューワールド・イニシアチブ 代表/
大阪大学社会ソリューションイニシアティブ 特任研究員/
2025年日本国際博覧会大阪パビリオン推進委員会 ディレクター
（2）グローバル・シェイパーズ・コミュニティメンバーが考える
「未来への文化共創」とは
グローバル・シェイパーズ・コミュニティメンバーからの発表
（3）有識者からのコメント
（4）意見交換
（5）各参加者から一言
（6）まとめ

出席者（敬称略・氏名五十音順）：

<グローバル・シェイパーズ・コミュニティメンバー>

神菌 善規 大阪大学大学院情報科学研究科 博士後期課程/都山流尺八師範

佐久間 洋司 世界経済フォーラム シェイプ・ニューワールド・イニシアチブ 代表/
大阪大学社会ソリューションイニシアティブ 特任研究員/
2025年日本国際博覧会大阪パビリオン推進委員会 ディレクター

南 綾香 株式会社ディー・エヌ・エー

山科 言親 衣紋道山科流30代家元後嗣

<有識者>

鈴木 大輔 株式会社アートローグ 代表取締役CEO/編集長/アートイノベーター

堂目 卓生 大阪大学 総長補佐 社会ソリューションイニシアティブ長

大学院経済学研究科教授

鳥井 信吾 大阪商工会議所 会頭

長谷 敏司 日本SF作家クラブ所属 SF・ファンタジー小説家

※プレスオープンで実施します。ご取材いただける場合は、当日、会場にお越しくください。

以上